

2025 年 8 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 か ん な ん 丸
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 野 々 村 孝 志
(コード番号 7585 東証スタンダード)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 宮 永 一 彦
(TEL 048-815-6699)

特別損失の計上及び通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 6 月期において特別損失を下記のとおり計上しましたので、お知らせいたします。
また、2025 年 2 月 7 日に公表いたしました「2025 年 6 月期第 2 四半期（中間期）業績予想の修正及び通期業績予想の修正並びに営業外収益の計上に関するお知らせ」と本日公表しました「2025 年 6 月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失

①減損損失

収益性の低下が認められる店舗に係る固定資産につき、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 60 百万円を特別損失に計上いたしました。

②店舗閉鎖損失

店舗閉鎖に伴い発生した店舗閉鎖損失 9 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 2025 年 6 月期通期連結業績予想と実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想(A)	1,888	△122	△119	△129	△34 円 10 銭
今回実績(B)	1,871	△139	△136	△218	△57 円 33 銭
増 減 額 (B－A)	△16	△17	△17	△88	—
増 減 額 (%)	△0.9%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2024 年 6 月期)	1,649	△180	△172	△206	△54 円 21 銭

4. 差異が生じた理由

売上高につきましては、業態転換を行った店舗を始め既存店舗も好調に推移したものの、計画外の店舗閉鎖による売上減を補い切れず、当初予想を下回る結果となりました。営業利益および経常利益においては、原材料費や人件費が想定以上に上昇し、FL コストの抑制が計画どおりに進まなかったことから、予想を下回りました。

また、採算性の低下が認められる店舗について、将来リスクを早期に解消する目的で減損損失を計上いたしました。これは、長期的な収益基盤の強化を図るための措置であり、当社における重要な経営判断として実施したものです。これらの結果、当期純利益に当初予想との差異が生じることとなりました。今後は、既存店の競争力強化やブランド価値の向上に注力するとともに、収益力の改善に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。

以上